



事務事業の市民点検2021

中間報告

2022 年 1 月
市原市

目次

1 実施概要について	1
(1) 目 的	1
(2) 点検の基本的な考え方	1
(3) 全体スケジュール	1
(4) 点検対象とする事務事業の選定	2
(5) 事前研修会	2
(6) 点検方法	3
2 実施結果について	4
(1) 点検結果	4
(2) 点検従事者数の実績	4
3 中間報告について	5
(1) 中間報告	5
(2) 最終報告	6
4 アンケート結果について	7
(1) 市民点検員に関するアンケート	7
(2) コーディネーターに関するアンケート	9
(3) 説明員（市の担当課職員）に関するアンケート	10
(4) OB・OG 点検員による過去との比較について	13
(5) オンラインによる点検実施について	14
(6) 自由記載欄について	15
5 事務事業一覧	17
(1) 点検結果が「もう一歩！（要改善）」、反映の方向性が「即時反映」となったもの（12 事業）	17
(2) 点検結果が「もう一歩！（要改善）」、反映の方向性が「実行計画・次年度予算」となったもの（2 事業）	21
(3) 点検結果が「いいね！（継続）」となったもの（3 事業）	22

1 実施概要について

(1) 目的

対話による改革・改善の推進

(ア) 職員の意識改革から組織文化の変革

点検での気づき、組織内対話、組織間対話を通じて、事務事業の原点に立ち返り、組織目標を共有化して、自律的な改革・改善を行えるよう組織文化の変革を促します。

(イ) 市民参画の更なる推進

点検を通じて更なる市民参画を図り、市民本位の行政経営を推進します。

(2) 点検の基本的な考え方

市が行う事務事業は、内容が目的達成の最適な手段となっているか、常に原点に立ち返り不断の見直しを行い、主体的な改革につなげることが必要であることから、市民との対話により点検を行いました。

点検の結果は、成果が目に見えるよう、実行計画、次年度予算、行財政改革アクションプランの見直し等に反映させます。

なお、点検の結果は、拘束力を持つものではありません。しかし、外部評価及び客観的評価として尊重し、説明責任を果たすため、点検結果及び反映結果は（反映できない場合は理由も付して）全て公開します。

(3) 全体スケジュール

5月～6月	・ 市民点検の実施について検討 ・ 市民点検対象事業の選定
7月	・ 行政改革推進本部、行政改革推進委員会の開催 ・ 市民点検員研修会の実施
8月	・ 職員へ論点整理研修の実施
9月	・ 事業シートの公開
10月	・ 市民点検実施（10月9日、10日）
11月～12月	・ 中間報告の取りまとめ
1月	・ 公表（ウェブサイト等）
1月～2月	・ 最終報告の取りまとめ
2月～3月	・ 行政改革推進本部、行政改革推進委員会へ報告 → 公表（ウェブサイト等）

(4) 点検対象とする事務事業の選定

事務事業の総点検（2016 年）で市民による点検を実施した 104 事業を対象に再度点検を行うこととしました。その中からすでに見直し等を実施した事業を除き、30 事業を対象として点検員募集時の際に市民アンケートを行い、8 事業を対象としました。

また、複雑多様化する課題への取組に対し、市原市ならではのニーズを踏まえた課題として、子ども若者の貧困に関連する事業について 9 事業を対象としました。

これら 17 事業について、市原市行政改革推進委員会に諮った後、決定しました。

(5) 事前研修会

ア 市民点検員研修会

日 付：令和 3 年 7 月 18 日（日）

対 象：市民点検員（AM:OB・OG 点検員、PM:新規市民点検員）

出席者：58 名

イ 論点整理研修会

日 付：令和 3 年 8 月 2 日（月）

対 象：点検対象課の職員（課長、係長、担当者）

出席者：40 名

(6) 点検方法

市民点検の参加者は、コーディネーター、ナビゲーター各1名、市民点検員6～7名（うちオンライン参加1～3名）、説明員（市の担当課職員）2～3名がグループとなり、オンライン環境によりグループごとに実施しました。

1事業当たりの点検方法と判定については、以下のとおりです。

事業説明	役割：説明員（市の担当課職員）	10 分		
	説明員が、市民点検用説明シート及び事業シートに基づき、事務事業の要点や補足を簡潔に説明しました。			
対話 質疑応答	役割：コーディネーター、ナビゲーター・各市民点検員	50 分		
	コーディネーター及びナビゲーターが、対話が促進されるよう点検を進行しました。 市民点検員は、事務事業の内容や実績等について、質疑を行い、事業の在り方、実施方法等について対話を行いました。			
判定	役割：コーディネーター、ナビゲーター・各市民点検員	10 分		
	対話に基づき、判定シートを用いて結論を出し、結果及び内訳を公表しました。 <table border="1"><tr><td>判定区分</td></tr><tr><td>ちょっと待った！（廃止・凍結）</td></tr><tr><td>もう一歩！（要改善）</td></tr><tr><td>いいね！（継続）</td></tr></table> 判定以外にも、各市民点検員の御意見は、判定シートへ記入し、その内容を担当課へ回付しました。		判定区分	ちょっと待った！（廃止・凍結）
判定区分				
ちょっと待った！（廃止・凍結）				
もう一歩！（要改善）				
いいね！（継続）				
※時間は目安であり、点検内容によって増減あり		計 70 分		

※市民点検員には、半日単位の参加で1,000円の図書カードを進呈（事前研修参加も含む）

2 実施結果について

(1) 点検結果

実施日	事業数	ちょっと待った！ (廃止・凍結)	もう一歩！ (要改善)	いいね！ (継続)
10月9日(土)	8	0 (0%)	6 (75%)	2 (25%)
10月10日(日)	9	0 (0%)	8 (89%)	1 (11%)
計	17	0 (0%)	14 (82.4%)	3 (17.6%)

※各事務事業の詳細を記載した事務事業一覧（P17 以降参照）には、判定の内訳と、判定に至った経緯を明らかにするため、「判定のポイントとなった理由」をまとめています。

(2) 点検従事者数の実績

項目	1 無作為抽出 点検員	2 OB・OG点検員	計
案内状発送	1,600※1	211	1,811
応募者(応募率)	30 (1.9%)	52 (24.6%)	82 (5%)
研修 (参加率=研修/応募者)	23 (76.7%)	35 (67.3%)	58 (71%)
市民点検 (参加率=点検/応募者)	上段 10/9 8	15	23
	下段 10/10 9	16	25
	17 (56.7%)	31 (59.6%)	48 (59%)

■市民点検参加者 内訳

性別	人数	割合
男性	28	58.3%
女性	20	41.7%
合計	48	100%

年代	人数	割合
10代	0	0.0%
20代	5	10.4%
30代	3	6.3%
40代	9	18.8%
50代	13	27.1%
60代	10	20.8%
70代	6	12.5%
80代	2	4.2%
合計	48	100%

※ 1 18 歳以上の市民を無作為に抽出して案内状を発送

※ 2 OB・OG 点検員＝過去の点検に参加したことのある市民点検員

3 中間報告について

(1) 中間報告

中間報告では、各事務事業について、「反映の方向性」と「担当職員の得られた気付き」を報告します。

ア 「反映の方向性」

「反映の方向性」は、点検結果が「ちょっと待った！（廃止・凍結）」「もう一步！（要改善）」となった14の事務事業を対象に、以下の3区分から選択しました。

点検結果	反映の方向性		
	即時反映	実行計画・次年度予算	行財政改革アクションプランⅡ
ちょっと待った！（廃止・凍結）	0	0	0
もう一步！（要改善）	12	2	0
計	12	2	0

(ア) 即時反映する

点検結果を受け、予算には影響せず、今年度中又は次年度中にすぐに改善し取り組むもの。

（例）ニーズ把握のためのアンケート調査を実施する。

事業周知方法を見直し、紙媒体からSNSを活用した広報等に改善する。

(イ) 実行計画・次年度予算に反映する

事務事業を見直し、次期実行計画に位置付けるとともに、次年度当初予算に反映させるもの。

（例）次年度から廃止する。事業費を減額（増額）して実施する。

(ウ) 行財政改革アクションプランに反映する

行財政改革アクションプランに位置付けるもの。

（例）事務事業の主体や実施方法を見直しに相手側との協議が必要で、複数年かけて反映させていく。

イ 「担当職員の得られた気付き」

主体的な改革改善につなげていくための契機として、“気付き”を得ることが大切であることから、点検を行った全ての事務事業を対象に、「担当職員の得られた気付き」を取りまとめました。

※詳細は、事務事業一覧（P17以降参照）のとおり

ウ 市民参画に係る課題等

昨年度に引き続き、無作為抽出による市民点検員の応募率は新型コロナウイルス感染症対策による緊急事態宣言等の影響を受け低下しました。一方でこれまでの市民点検による御縁から、継続的な 0B・0G 点検員の参加があり、市の事務事業に対し、論点の深掘りができました。市民の参加を得て、市民の目線に立った行政サービスが進められるよう、更なる市民参画を広げる取組が必要です。

(2) 最終報告

今後、各担当課においては、中間報告の「反映の方向性」「担当職員の得られた気付き」に基づき、庁内及び庁外調整を経て、具体的な見直し方法等を最終報告としてまとめます。最終報告は令和 4 年 3 月に公表予定とします。

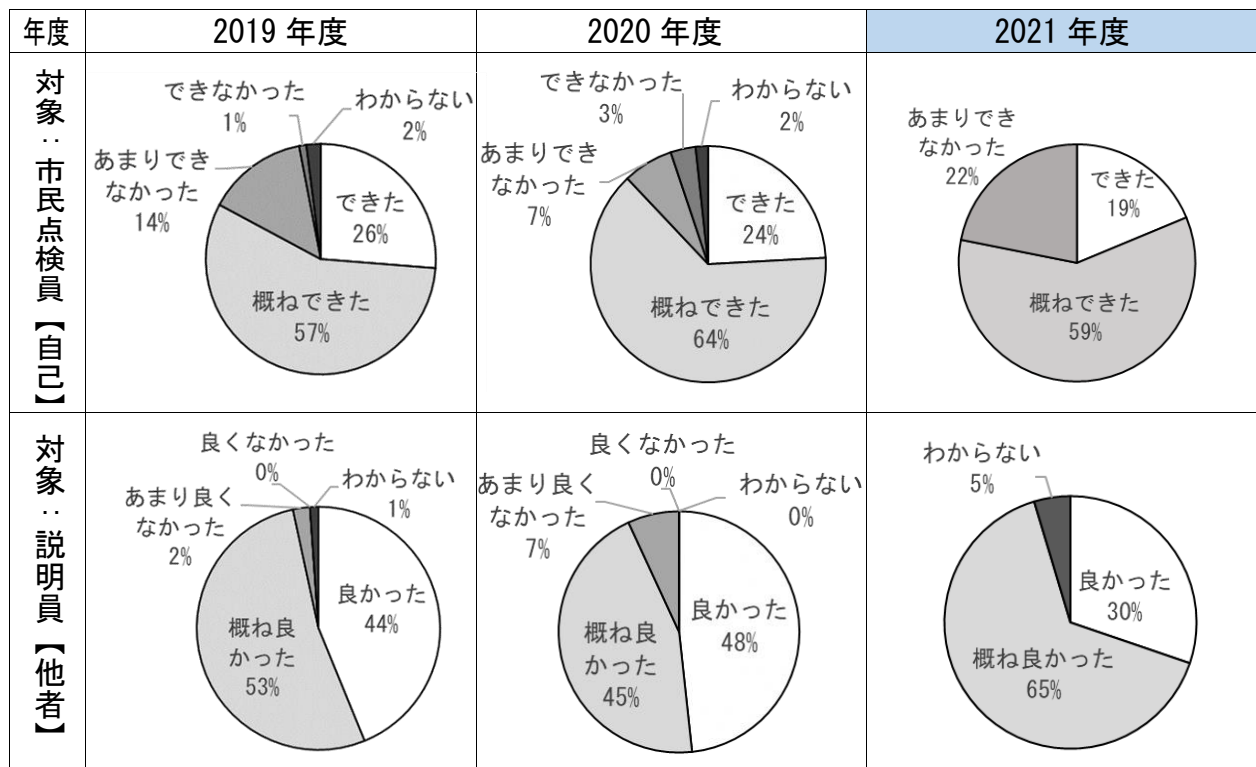
4 アンケート結果について

(1) 市民点検員に関するアンケート

① 市民点検員の質問について

自己評価（上段）・・・思った通りの質問ができたか

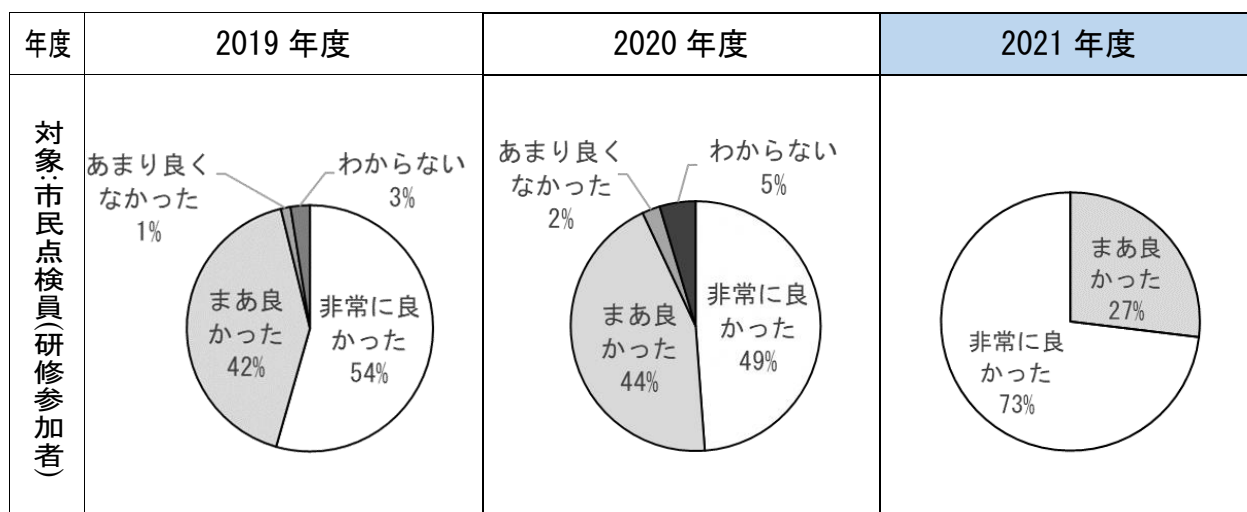
他者評価（下段）・・・質問はどうだったか



上段の自己評価において、今回の点検では、「できた」「概ねできた」を合わせると78%（上段右グラフ）となり、前回（上段中グラフ）、前々回（上段左グラフ）と比較し減少したものの、市民点検員から思った通りの質問ができたという回答が多くありました。

他者評価では、説明員（市の担当課職員）からは、「良かった」「概ね良かった」を合わせると95%（下段右グラフ）であり、前回（下段中グラフ）、前々回（下段左グラフ）と同様に肯定的な評価が9割を超える高い評価となりました。

② 事前研修に参加してどうだったか



点検前に実施した市民点検員研修についての設問では（右グラフ）、「非常に良かった（有意義だった）」が73%であり、非常に高い評価となりました。

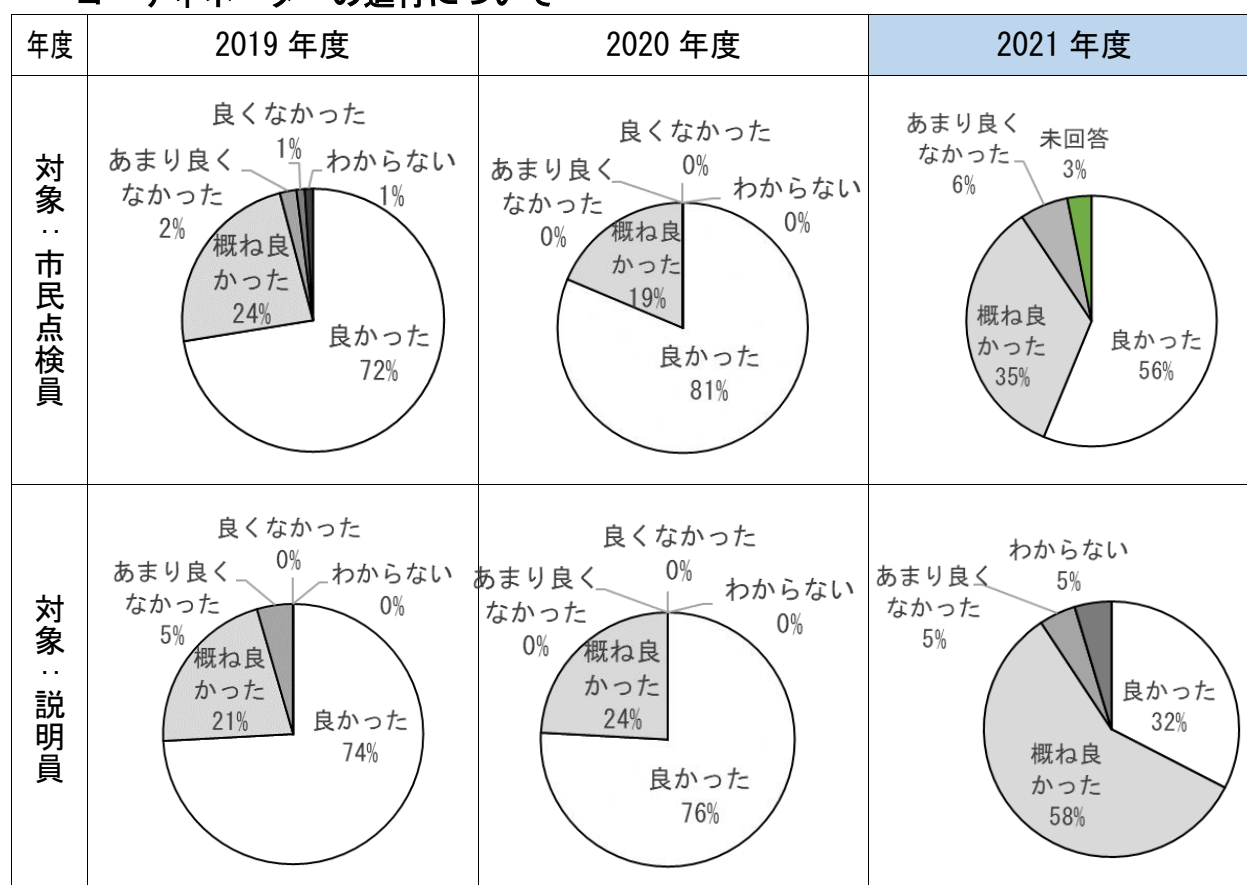
アンケートからは、概ね研修の効果があったと言える意見が多くありました。

主な意見は、以下のとおりです。

- ・ しっかり予習できた
- ・ 事前の説明を受けるため必要（外8件）
- ・ 初めての参加だったので
- ・ 会議の雰囲気を感じられるので参加して良かった
- ・ 市民点検の流れを確認できる。点検の評価の仕方を確認できる
- ・ 他の方の話を聞いてよかった（違う視点で考えられる）
- ・ 具体例がありわかりやすかった
- ・ 自分の考えプラス他の方の考えで勉強になりました
- ・ 市原市の財政や人口推移等良く分かった
- ・ 市の活動内容の理解や他の点検員の考えも聞いた事
- ・ 進め方の理解が進んだ
- ・ やる気がでる
- ・ 今年度の点検項目の内容が理解できた
- ・ 研修は作業の感度を呼び戻してくれます
- ・ 市の「子ども・若者の貧困対策について」のプレゼンは聞き応えがありましたが、その他の説明は重複した部分が結構あって、話す内容、話し方などもう少し工夫してほしいと思いました
- ・ 1年も前の事なので、研修で思い出すことが多い
- ・ 久しぶりの参加だったので、以前よりバージョンアップしていることがわかった
- ・ 点検の大まかな流れをわかったうえで臨むと意見がしやすいです
- ・ 何回も点検員をやっていると不要
- ・ 点検の視点を見直せた

(2) コーディネーターに関するアンケート

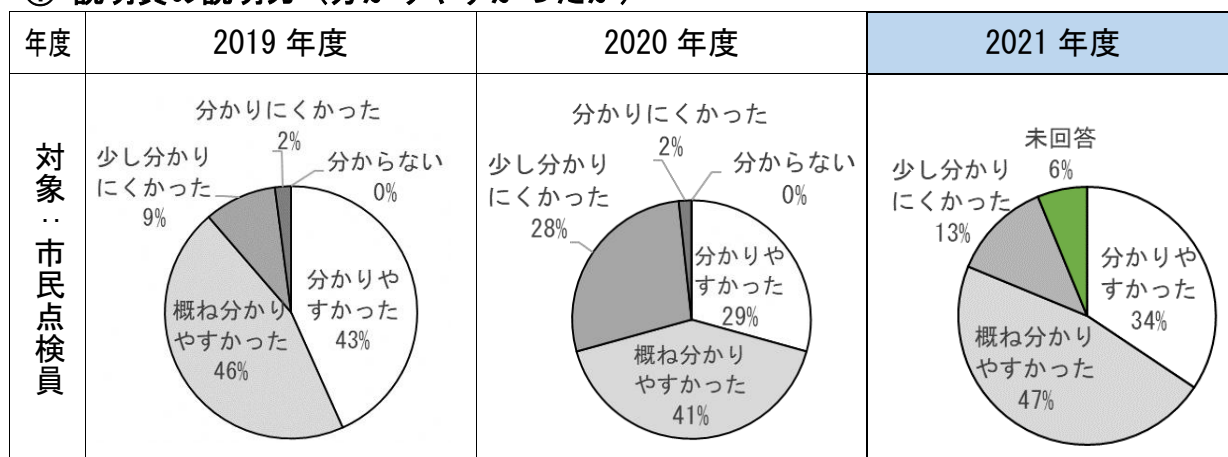
コーディネーターの進行について



構想日本から派遣されたコーディネーターの進行について、「良かった」、「概ね良かった」と回答した市民点検員（上段右グラフ）、説明員は（下段右グラフ）ともに 90%を超え、前回（中縦列）、前々回（左縦列）と同様に非常に高い評価となり、コーディネーター力の高さが分かる結果となりました。

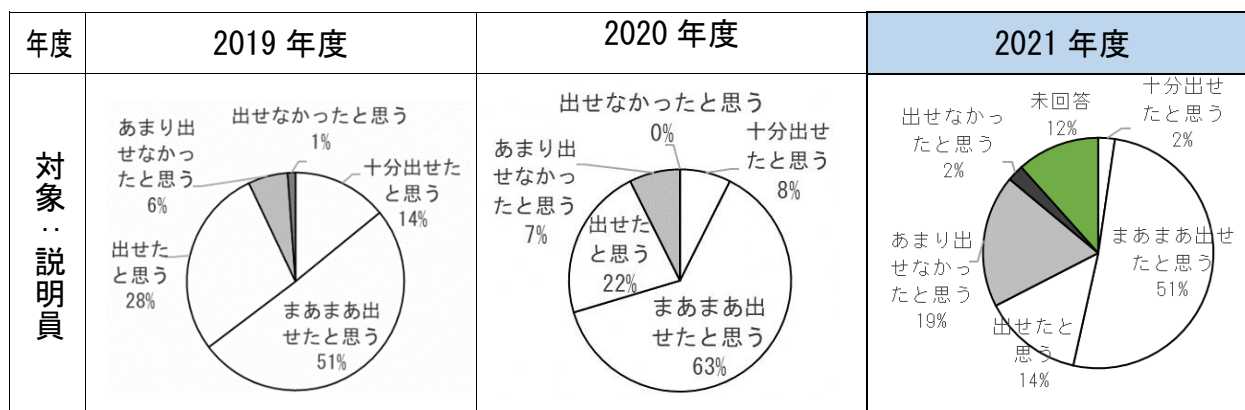
(3) 説明員(市の担当課職員)に関するアンケート

① 説明員の説明力（分かりやすかったか）



説明員の説明力について、「分かりやすかった」と回答した市民点検員が34%（上段右グラフ）であり、「概ね分かりやすかった」と回答した点検員と合わせて81%の点検員が分かりやすいと評価しました。

② 説明員研修の成果が出せたか

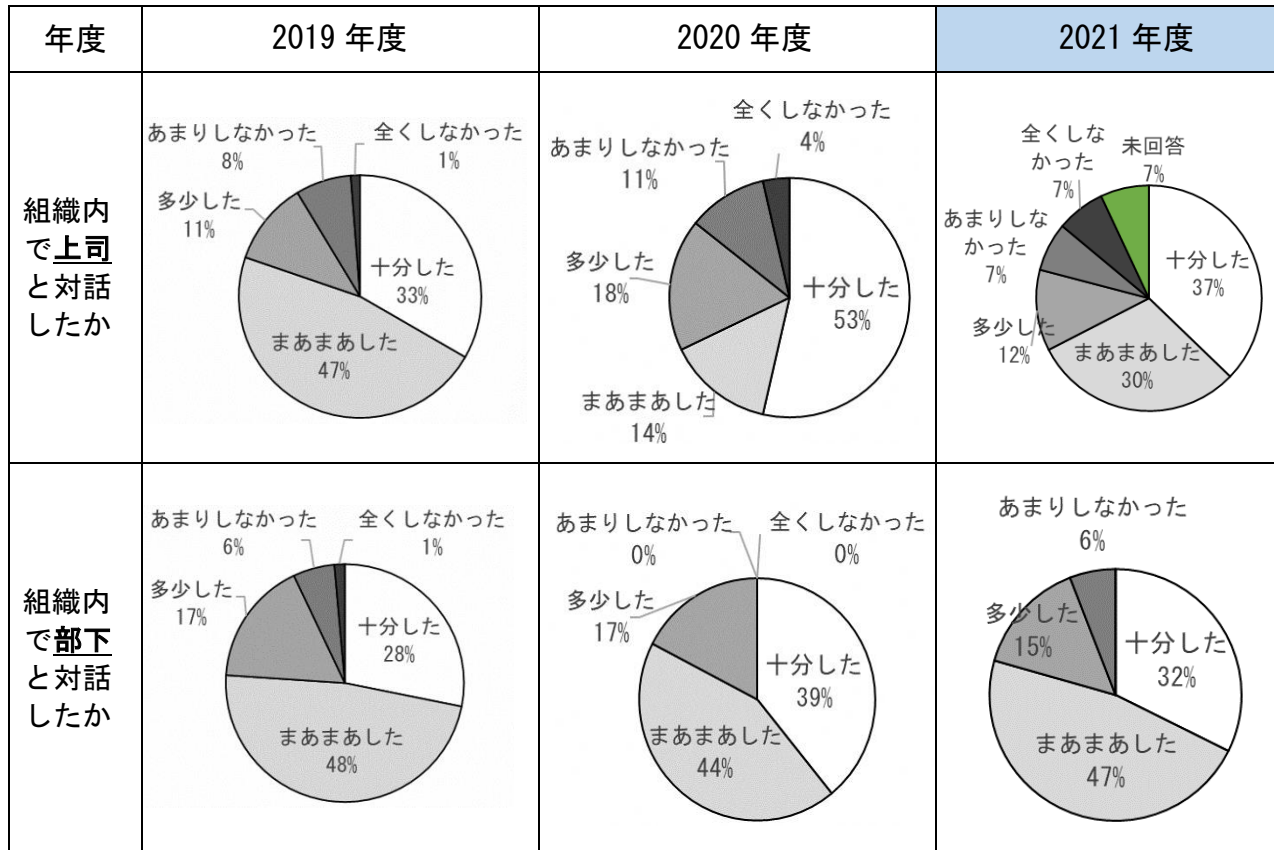


研修の成果については、「十分出せたと思う」「まあまあ出せたと思う」「出せたと思う」を合わせると67%（右グラフ）となり、前回（中グラフ）、前々回（左グラフ）と比較し20%以上低下する結果となりました。点検直前での開催延長となり、研修と点検当日の期間が空いてしまったことも影響したものと考えられます。

また、事前研修の必要性を問う別の設問では、約7割の説明員が「必要性をとても感じる」、「必要性をやや感じる」と回答しました。

③ 説明員に対して、組織内での対話についての設問

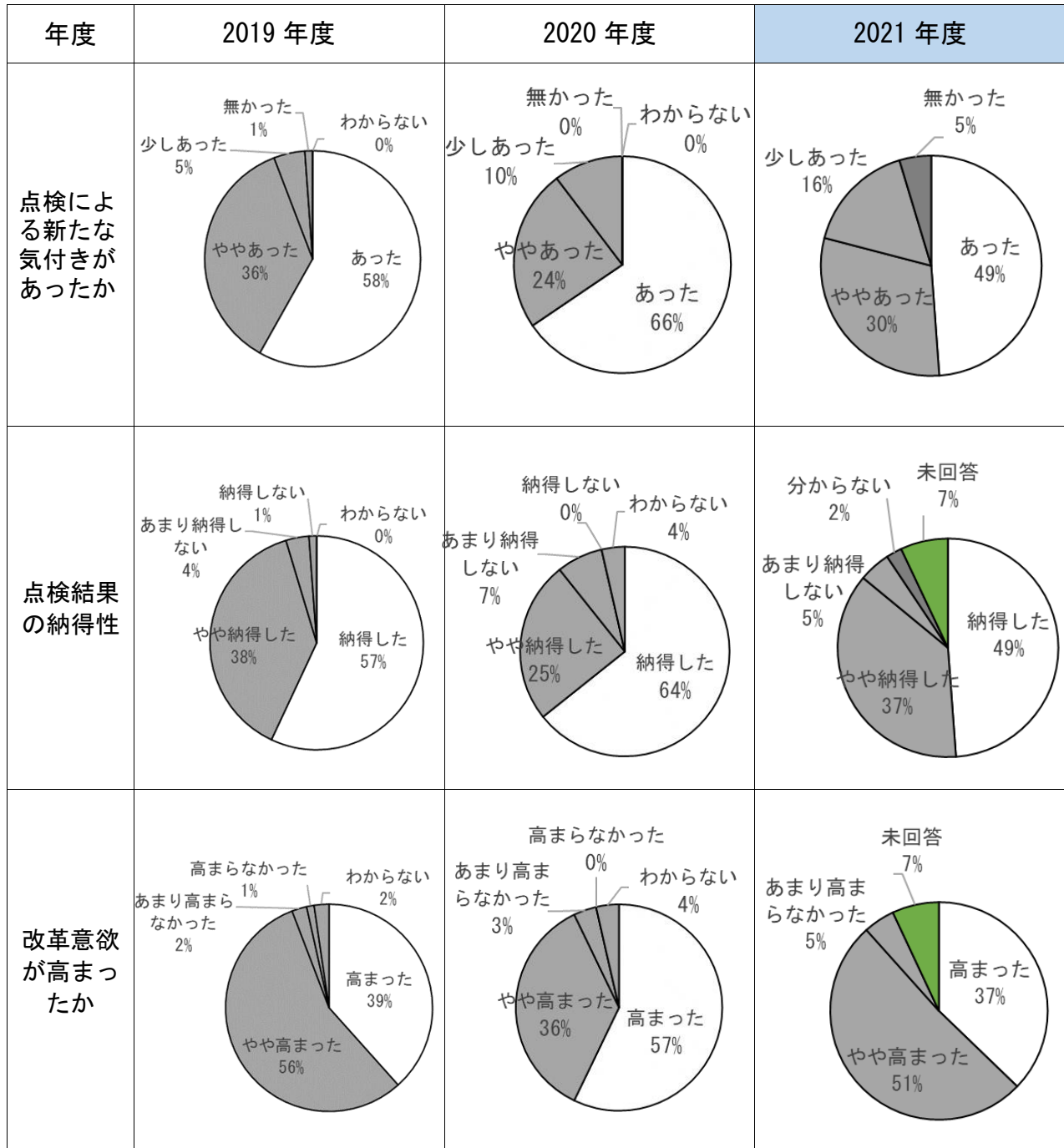
時点：点検終了時



対象事業について、組織内で対話をしたかどうかの設問では、「上司と十分に対話した」と回答した説明員が 37%（上段右グラフ）、「部下と十分に対話した」と回答した説明員が 32%（下段右グラフ）でした。前回（中縦列グラフ）と比較して、低下する結果となりました。

④ 説明員に対して、気づき等に関する設問

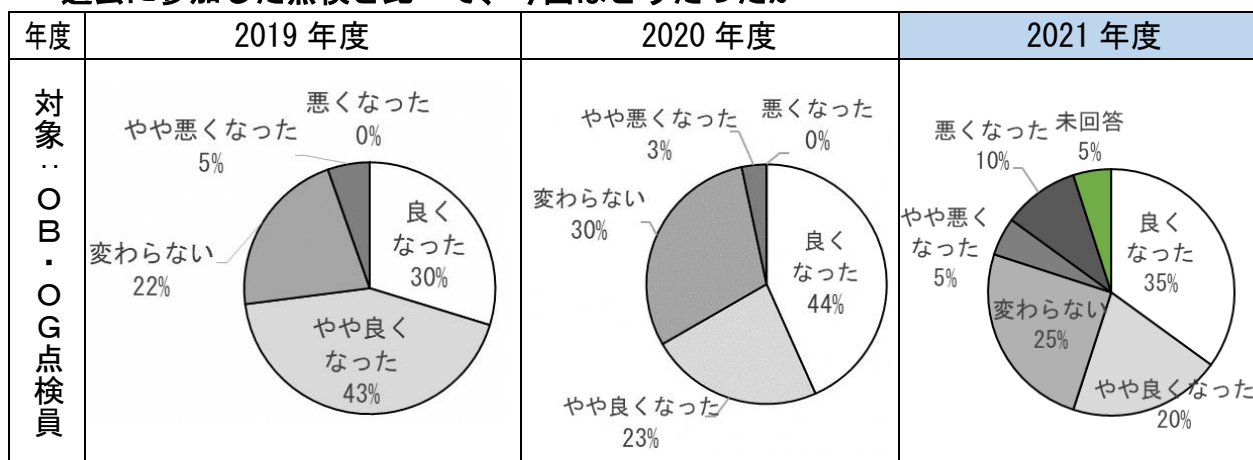
時点：点検終了時



「点検による新たな気づきがあったか」「点検結果の納得性」「改革意欲が高まったか」という3つ設問（右縦列グラフ）では、前回（中縦列グラフ）、前々回（左縦列グラフ）と比較して減少したものの、市民点検が行政改革の手法として、また、意識改革の手法として一定の成果があるものという結果となりました。

(4) OB・OG 点検員による過去との比較について

過去に参加した点検と比べて、今回はどうだったか



過去に参加した点検と今回を比較する設問では、「良くなった」「やや良くなった」と回答したOB・OG点検員が合わせて55%（右グラフ）という結果となりました。

主な意見は、以下のとおりです。

◆良くなった点

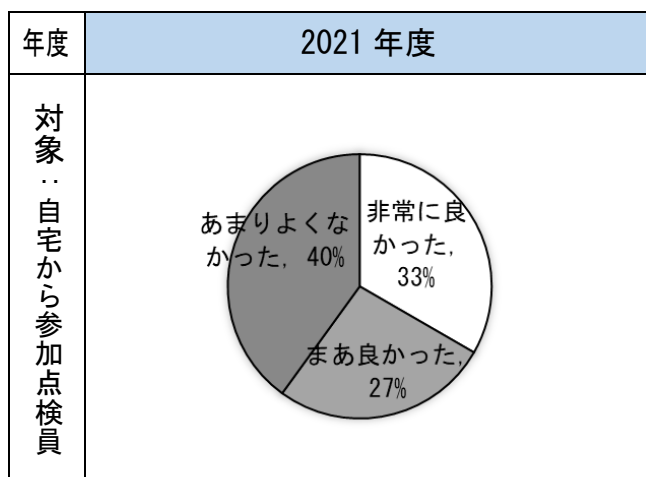
- ・ 以前から有意義だと思っていたから（外1件）
- ・ 資料がとても見やすかった
- ・ リモート開催がはじめてだったので、比べるのは難しいですが昨年と遜色なく進められていたと思いました
- ・ コーディネーターの振り方やまとめ方が良くなった（外1件）
- ・ 少人数のため意見を述べる時間があつた
- ・ 他の点検員の話もよく聞きながら市の活動を理解する活動としては有効だと思いますのでこれからも継続願います
- ・ 皆さんよく勉強されていてはっきり意見を述べられていて好感が持てました
- ・ コロナ禍にもかかわらず十分な質疑ができて前回の市民点検に劣らず有意義でした

◆改善点

- ・ 資料に基づいて議題をすすめるところ、話がずれてしまう所が多々ありました
- ・ コロナで参加人数が少ないので盛り上がりには欠けたのでは
- ・ オンラインのため不具合多すぎる前回、前々回は大変良かったと思います
- ・ 場の雰囲気、点検員どうしのつながりが弱かった
- ・ 点検員は市にきてオンラインならいいが、自宅オンラインはしっくりこない
- ・ 点検員の質問時間が短くなった気がする、オンラインの段取りが悪い
- ・ 少人数のためか全員の意見が聞けたが、多くの市民が参加する目的からすればもう少し多くの参加者の方がよかった
- ・ 参加されている点検員の方が教師経験者や他自治体への勤務者など詳しい方が多いような気がする、意図があるのならそういった人選でもいいのかと思います

(5) オンラインによる点検実施について

オンラインによる点検の実施についてどのように感じたか



オンラインによる実施の感想についての設問では、実際に自宅からの参加者では、6割の参加者が「非常に良かった」、「まあ良かった」と回答する結果になりました。

具体的な内容は、以下のとおりです。

- 他者の意見に対し、別室だからこそ意見しやすいという利点があるように感じた
- リモートでの会議が出来て楽しかったですが、通信環境はあまり良くなく、人のコメントが聞こえなかったです
- オンラインは今後不可欠だと思います。通勤時間の節減効果は大です
- 何処からでも参加できるので、色々な人が会議に参加でき良いと思いました。また、その場の雰囲気というもの感じないので周りに流されず意見ができるように感じました
- 説明員の音声がよく聞き取れなかった（外4件）機材の問題なので今後活かしてほしい
- 声が近くに聞こえるので、会場にいる時に比べてよく聞こえました
- 厳しい条件の中で、よく準備してくださったと思います。比較的うまくいった方だと思いますが、やはり音声が切れたり表情がわかりにくかったりするデメリットはどうしようもないなと思いました
- 初対面の方との会議は、話している方の表情が見えた方が良い。Zoomではジェスチャが見えない
- 年齢の差が感じにくく意見しやすかった
- 点検シートの提出には時間がかかると感じます。入力しにくいので
- 移動時間がないので、時間的な束縛が短くて済む
- 家に居ながらできる

(6) 自由記載欄について

ア 市民点検員の意見

自由記載欄に寄せられた主な意見は、以下のとおりです。

- 1つの点検で午前、午後1つずつで良いと思う
- オンラインも良い会議ができた実感できたので若い世代の人にも広めてほしい
- また機会があれば是非参加したいです（外2件）
- 市民の方から提案し意見を出してみたいです
- 議題とちがう話をする方がいるので、軌道修正が大変だなと思いました
- できるだけ数値を、他市町村等の明記してほしい
- 市民点検を行った事業について、検証することが重要だと思う
- 続けていくことで市役所と市民のコミュニケーションが進むのではと思います（情報共有による相互理解）
- 市民参加を増やしていくことは良いと考えます
- 職員側が現状でいいと思っているのか○とか×とかの記号表記でみてみたい
- オンラインなら時間は倍必要、または点検員の人数を減らして時間を変えないかのどちらかです（外2件）
- オンラインはとても良いと思います

イ 説明員の意見

自由記載欄に寄せられた主な意見は、以下のとおりです。

- 本質的部分の議論に時間をとるためには、基礎的な情報に関する質問については事前に提出してもらい確認できていれば、限られた時間を有効にできるのではないかと
- 初めてのオンライン開催のため大変だったとは思いますが、途中で通信が切れたり、音声聞き難かったりしたことは、改善の必要があると思います（外3件）
- 直接対話できた方がよい
- 多くの方の意見を聞くという観点から、点検員の選出は見直した方がいいと思う。点検員として複数年委嘱しているなら別ですが
- 市民点検員が同一の方であるとたくさんの御意見をいただくことができないと思う。改善が必要と感じた。
- オンライン実施は他課の点検の様子が分かりにくい。
- オンライン実施の場合、個人情報までは不要ですが、参加いただいている方についてある程度認識をもって望みたいと考えました。
- 全部署にもかかわりができるように法定事務においても、手続きなどにおいて改善点等がないか検証していただきたい。
- 公募によりテーマを定めて3年に一度くらいの開催を望みます
- 点検員がさまざまで（経験、知識、意欲）、意見がばらつきその後の対応が悩ましい。

-
- 今回の市民点検はどの部署もコロナの対応、ワクチンの応援等大変な状況であるなか、相当苦労したと思う。全庁的な業務、業務量を考慮し点検実施の可否を判断いただきたいと思います。
 - 点検までの事務作業についてめ切が短く、もう少しゆとりのある日程としてほしい。

5 事務事業一覧

(1) 点検結果が「もう一步！(要改善)」、反映の方向性が「即時反映」となったもの(12 事業)

事務事業名	担当課室	【点検結果】					【中間報告】	
		判定	一内訳一			参考	反映の方向性	担当職員の得られた気づき
			ちょっと待った！ (廃止・凍結)	もう一步！ (要改善)	いいね！ (継続)	コーディネーター判定		
いちはらの魅力発信事業	シティプロモーション推進課	もう一步！ (要改善)	0	3	2	もう一步！ (要改善)	・いちはらファンを増やすという目的自体は良い。 ・人口が転出超過になっている原因は何かという分析が必要ではないか。 ・毎年同じ取組をするのではなく、ターゲットを絞ってメリハリをつけた方が良いのではないか。 ・費用対効果を意識して広報媒体を厳選してはどうか。 ・市ウェブサイト上で市民と対話できる仕組みがあると、ウェブサイトの利用者が増えるのではないか。 ・デジタルデバйдについても意識して取り組んでほしい。	即時反映 ・成果指標を見直します。 ・例年同じことを継続するのではなく、ターゲットをしぼって強化すべき事業を選定していくことの必要性を感じました。 ・本市の魅力がどこなのかを市民や市外の人に認識してもらうことは重要であり、事業継続の意義を再認識することができました。
消費生活対策事業	消費生活センター	もう一步！ (要改善)	0	4	1	もう一步！ (要改善)	・消費生活センターのことをもっと知ってもらい必要があるのではないか。 ・電話、対面相談以外の方法でも相談できると良いのではないか。 ・相談事例を電子媒体等で市民に共有してはどうか。 ・成人年齢の引き下げに伴い、若者が悪質商法等のターゲットにされやすくなるため、特に若者向けにオンラインで啓発活動や講座開催をしてほしい。 ・小学生向けの啓発冊子に代えて、小中学校で支給されているタブレット端末等を利用して出前講座を実施してはどうか。	即時反映 ・消費啓発の発信については、消費生活相談事例を広報紙やウェブサイトですら毎月発信しているところですが、それが市民に周知されていない現状が認識できました。今後はSNS等を活用するなど、より多くの人に伝わる情報発信に努めます。 ・消費生活講座などについては、これまでの講座の開催とともに、オンラインを活用した発信をすることにより、誰もが参加しやすく、かつ何度も見直すことができるように対応していきます。 ・事業成果の指標については、市民やコーディネーターからの意見を踏まえ、事業を遂行する上での目標となることから、設定に向けて関係部署と協議をしていきます。

事務 事業名	担当 課室	【点検結果】					【中間報告】		
		判定	一内訳一			参考	判定のポイント となった主な意見	反映の 方向性	担当職員の 得られた気づき
			ちよつと待っ た！ (要改善)	もう一 歩！ (要改善)	いいね！ (継続)				
観光プロ モーション 事業	観光振興課	もう一歩！ （要改善）	0	5	0	もう一歩！ （要改善）	・リピーターを意識して、PR用の案内などは定期的にアップデートした方がよいのではないかと。 ・モニターツアーの実施や観光の仕方についての提案をしてもらいたい。 ・他のセクションとの連携や民間とのタイアップが重要と思う。 ・歴史遺産は素晴らしいものがあるのでもっと強みを生かしてほしい。	即時反映	職員以外の方、また市外の方からの意見に新たな視点があることから、これらを参考に職員も観光資源の磨き上げや発掘を議論する必要があると思いました。また、広報部門と連携し、効果的な情報発信を行う必要があると感じました。
		【事業目的】 本市単体での観光PRのほか、近隣自治体と連携して本市の観光スポットの魅力を一体的に発信することで、相互の流入による観光客の増加を図ります。							
		【事業内容】 本市単体での観光PRのほか、近隣自治体と連携して本市の観光スポットの魅力を一体的に発信することで、相互の流入による観光客の増加を図ります。							
景観形成推 進事業	都市計画課	もう一歩！ （要改善）	0	3	2	もう一歩！ （要改善）	・活動団体が少ないので、もっと周知の方法に工夫が必要ではないかと。 ・新たな団体の掘り起こしが大変だと思うが、とても良い取組だと思う。 ・まちの美化に対する意識づけにつながり良いと思う。 ・公共の施設の景観維持も必要なのではないかと。 ・苗や肥料、工具等、現物支給も検討してほしい。 ・活動状況を広報してあげると張り合いになるのではないかと。	即時反映	制度の周知が不十分であること、事業の成果を周知することで市民団体のやりがいにつながるのと御指摘は、的確なものであると感じました。また、「景観形成」事業が多くの方に肯定的に捉えられていること、「景観」の考え方も、公共の建物であったり、道路や空き地の雑草であったり、様々な視点があることに気付かせていただきました。
		【事業目的】 良好な景観の形成に役立つ活動をしている市民団体を認定し、その活動費の一部を助成することで市の美しい景観を形成していくこと。							
		【事業内容】 景観形成促進団体が実施する良好な景観の形成に役立つ活動に対して、経費の一部を助成金として交付します。							
生涯学習推 進事業	生涯学習セ ンター	もう一歩！ （要改善）	0	6	0	もう一歩！ （要改善）	・事業の目的がわかりづらい。おでかけくんで「まちづくりの多彩な発展」とあるが、事業内容と目的がマッチしていないのではないかと。 ・事業内容を動画配信してはどうか。 ・発明クラブは良い取組だと思うが、会場が1カ所とというのは少ないのではないかと。 ・まちのせんせいは、保育所等でも実施すれば交流が広がるのではないかと。	即時反映	「おでかけくん」「まちのせんせい」は、時間や場所を選ばず学習できる動画配信の導入や、広報の方法について、改めて検討しなければいけないと感じました。また、民間事業と市が提供する生涯学習事業との住み分けや成果指標については、整理する必要があると感じました。なお、「市原・袖ヶ浦青少年発明クラブ」の事業内容については、高評価をいただきましたが、開催場所については、他の地区でも開催してほしいという要望があることを確認できました。
		【事業目的】 「おでかけくん」市職員による出前講座を行うことにより、市民の市政に関する理解を深め、市民参加の行政と生涯学習の推進を図り、まちづくりの多彩な発展を目的とします。 「市原・袖ヶ浦青少年発明クラブ」青少年に科学的な興味、関心を追及する場を提供し、自由な環境の中で創造活動を行い、作品を完成する喜びを体得させ、科学的発想に基づく生活態度を育成するとともに、創造性豊かな人間形成を図ります。							
		【事業内容】 「おでかけくん」は出前講座として市職員が講師として出向き、市政の説明や専門知識を生かした講習等を行います。 「発明クラブ」は地元企業が子どもたちに工作実習・化学実験に触れる機械を提供する地域貢献事業に対して補助金を交付します。							

事務 事業名	担当 課室	【点検結果】					【中間報告】		
		判定	一内訳一			参考	判定のポイント となった主な意見	反映の 方向性	担当職員 の 得られた気づき
			ちよつと待っ た！ (要改善)	もう一 歩！ (要改善)	いいね！ (継続)				
環境学習事 業（自然啓 発事業）	環境管理課	もう一歩！ （要改善）	0	6	1	もう一歩！ （要改善）	・自分ができることについて考える良い機会となった。環境問題にあまり関心がない人に訴えかけるために、今後も事業継続した方がよい。 ・環境フェスタをショッピングモールなどで実施すればもっとたくさんの人に参加してもらえるのではないかと。 ・担当者もSDGsによく学ぶ必要があると思う。 ・SNSでの発信を強化した方がよい。 ・小学生のうちから興味を持ってもらえるようにした方がよい。	即時反映	環境学習事の推進への取り組みについて、必要であることについては御理解いただいていると感じました。今回の点検での意見も参考に、市公式SNS、ホームページ及び広報誌等を活用し、広く市民に情報が届くよう、情報発信に取り組みます。
		【事業目的】 身近な環境や環境問題に関心を持ち、環境についての理解や認識を深めること。	【事業内容】 各種イベントや講座を実施することで、家庭、学校、地域、NPO、事業者、行政などの様々な主体が、持続可能な社会の実現に向けて自発的に参画し、それぞれの役割を果たしつつ、協働によって行動変容が図られるよう事業を展開しています。						
環境美化推 進事業	不法投棄対策・残土指導課	もう一歩！ （要改善）	0	5	2	もう一歩！ （要改善）	・町がきれいであればボイ捨ては減ると思うので、事業継続してほしい。 ・地域を絞ってごみゼロを目指してはどうか。 ・ボイ捨て抑止につながる工夫（例えばボイ捨ての多い場所にダミーの監視カメラを設置する等）が必要ではないか。 ・環境美化推進員によるポケットティッシュの配布は効果に疑問がある。 ・駅などに空き缶やペットボトルの投入機を設置し、ポイント付与できる仕組みを検討してはどうか。	即時反映	現在行っている環境美化推進に係る取り組みについて、概ね御理解いただいていると感じました。また、「幹線道路交差点付近の車内ごみのボイ捨てや草刈り後の残ったごみは目立つ」などの現状における御指摘、環境美化の意識向上に係る啓発方法等に多くの御提案を頂くなど、新たな気づきを得ることが出来ました。今回の点検を期に、更に改善意識を持ち、進化した環境美化の推進に取り組みます。
		【事業目的】 ボイ捨て防止のための啓発活動やボランティア清掃への支援を行うことで、市民や事業者等の環境美化の意識向上や協力体制を強化すること。	【事業内容】 市内一斉清掃デーやボイ捨て防止啓発キャンペーンの実施、環境美化推進員の配置や路面シート設置などボイ捨て行為に関する啓発に取り組みます。またゴミ袋の配布、ゴミの回収、清掃用具貸出等支援を行うとともに、申請に応じボイ捨て禁止看板を交付し、環境美化を推進します。						
教育相談事 業	教育センター	もう一歩！ （要改善）	0	3	3	もう一歩！ （要改善）	・曜日や時間設定が合理的で子どもを思いやった設定であると感じた。 ・対面活動の難しさや教室に来ることが出来ない子どもへの配慮としてオンライン開催の実施も検討してほしい。 ・就学援助の交通費が使えないのは残念。 ・子どもたちとのつながりを少しでも持てるよう、SNSやメール、オンライン相談を組み合わせる必要があると感じた。	即時反映	教育相談事業の重要性を再確認するとともに、より良い支援の在り方を考えるきっかけとなりました。適応指導教室の開設日数や時間の見直しについては、入級児童生徒にアンケートを実施し、子どもや保護者のニーズを参考に考えていきたいと思っています。ネット環境の活用については、入級児童生徒が適応指導教室に通級できない日に家庭と適応指導教室をオンラインでつなぐこと、適応指導教室間をオンラインでつなぐことなど活用の方法を考えたいと思います。市民の方々等の外部人材を活用し、体験学習を計画・実施していきたいと思っています。
		【事業目的】 さまざまな要因により、不登校状態が長期化している児童生徒の段階的な学校への復帰や社会への復帰を目指します。	【事業内容】 電話相談や来所相談などの相談事業と、不登校児童・生徒を受け入れる適応指導教室（フレンド市原）の運営を行っています。						

事務 事業名	担当 課室	【点検結果】					【中間報告】		
		判定	一内訳一			参考	判定のポイント となった主な意見	反映の 方向性	担当職員の 得られた気づき
非行化防止 活動事業	指導課	もう一歩！ （要改善）	3	5	0	もう一歩！ （要改善）	・警察や学校との連携はもっと必要だと思った。 ・非行化防止活動事業というならば、補助金交付だけでなくパトロール活動に対する指導などのサポートをしても良いのではないかな。 ・交付金を払うだけで効果検証ができていないように感じた。 ・教職員の負担も大きいと思うので、コースやスポットなどしっかり焦点を絞って実施した方が良い。 ・実際に参加したことがあるが、情報交換の場になっているだけで、非行化防止につながっているとは思えない。 ・防犯パトロール等、別の取組で十分ではないか。 PTAで補導できるわけではないので、補助金を出す必要性を感じない。	即時反映	PTAの活動の中で、非行化防止という観点ではなく、子どもたちの見守り活動という視点から、事業を進めていくべきだという市民の意見から、事業を見直していきたいと思います。
		【事業目的】 各学校で教員及び保護者が、非行化防止のためのパトロールや会議を行い、子どもたちの健全育成や学校教育の充実につなげることに。 【事業内容】 教職員、保護者が児童生徒の健全育成に必要な非行化防止活動を行います。参加する教職員や保護者の経費負担を減らすために、当該事業を行った市原市PTA連絡協議会に対して事業経費を補助金として交付します。							
多文化共生 事業	人権・国際課	もう一歩！ （要改善）	0	5	0	もう一歩！ （要改善）	・多文化共生には地域の受け入れ体制がしっかりしていないと難しい。各地域のキーパーソンを増やすことが重要。 ・外国人のいる職場や学校等ともしっかり連携し、寄り添った情報発信をしてほしい。 ・もっと地域を巻き込んでコミュニケーションをとっていくような取組が必要ではないか。 ・子どもの方が日本語を理解している場合が多く、もっと子どもを入り口にコミュニケーションをとってはどうか。	即時反映	外国人へのアプローチだけでなく、共に生活する地域の市民や児童等の目線での課題や問題解決という視点も取入れながら、共生社会の実現に向けて推進していきます。
		【事業目的】 言葉の壁による問題の解消を図り、外国人の地域社会の参加を促進すること。 【事業内容】 外国人市民が相談できる窓口や多言語による生活ガイドの翻訳、多文化共生への理解を深める講座を行う。							
子ども食堂の 支援に関する事業	子ども福祉課／共生社会推進課	もう一歩！ （要改善）	0	4	2	もう一歩！ （要改善）	・コロナ禍により生活環境が大きく変わることがあるので、変化に合わせ団体と連携し支援を行ってほしい。 ・町会等からの協力を得られるかもしれないので、もっと周知が必要ではないか。 ・実施団体が困っていることを認識し、もう少し踏み込んで市としてできることを考えてほしい。 ・教育委員会や民生委員等との対話により連携を密にした方がよい。	即時反映	・行政側から見てもそうですが、市民目線でも子ども食堂に様々な印象を持っていることを実感しました。貧困対策、居場所づくり、様々な考え方があります。行政の支援に際しても、どのようなイメージで食堂を始めようとしているのか、利用する人はどうかを聞き取って必要な施策につなげていく必要があると感じました。 ・学校との連携強化や生徒自身の運営への参加の促進という意見があった。子どもの居場所を考えるうえで、やはり各地域の学校との積極的な関係構築が必要となる。
		【事業目的】 新たに子ども食堂を始める方が必要な情報を得て円滑に開始できる状況を作ること。子どもの孤食の解消や地域住民の交流の場づくりの成果により、貧困の連鎖防止に寄与すること。 【事業内容】 子ども食堂の開始に関係する情報の収集と整理を行い、情報の更新を行います。							
母子父子福祉事業	子ども福祉課	もう一歩！ （要改善）	0	4	2	もう一歩！ （要改善）	・良い制度ではあるが、制度を知る機会が少ないと思った。 ・真に必要な医療かどうかの審査も必要。 ・他自治体と同様の制度設計と思うが、市独自の土壌があると思う。 ・親の立場としてはありがたい。	即時反映	点検員の方に、事業の内容を正確に把握していただけなかったと感じました。市民の方には、事業内容について丁寧に分かりやすい手法で正確に周知する必要があると再認識しました。
		【事業目的】 ひとり親家庭等の子育て世帯の経済的・心理的負担を軽減し、ひとり親家庭の生活と自立の促進に寄与すること。 【事業内容】 18歳到達後の年度末までの児童を養育するひとり親家庭の親子等に対し、医療費の助成を行います。							

(2) 点検結果が「もう一步！(要改善)」、反映の方向性が「実行計画・次年度予算」となったもの(2事業)

事務 事業名	担当 課室	【点検結果】					【中間報告】		
		判定	一内訳一			参考	判定のポイント となった主な意見	反映の 方向性	担当職員の 得られた気づき
在宅介護教室 開催事業	高齢者支援 課	もう一歩！ （要改善）	0	7	0	もう 一歩！ （要改善）	・介護方法について、ステップアップできるようなカリ キュラムを検討してほしい。 ・介護の必要性に直面していても、40歳から60 歳くらいをターゲットとして、積極的な広報が必要で はないか。 ・忙しくて参加できない人もいると思うので、動画配 信で教室の内容を観られるようにしてはどうか。 ・各地区とも年1回の開催は少ない。 ・すでに介護中の人が受けやすいよう、代わりの介 護の手配などがあると良いのではないか。	実行計 画・次年 度予算	在宅介護教室実施の目的を どうするかで内容や対象も 大きく変わっていくことを 再確認しました。また、開 催にあたっての周知方法な ども多くの人に周知できる よう検討が必要であると気 付きました。
		【事業目的】 介護者家族の身体的・精神的負担の軽減を 図ります。また、現在介護をしていない方 も今後の介護に備えての心構えをもつこと により、高齢者の在宅生活の継続、向上を 図ります。							
		【事業内容】 在宅での介護方法を習得するとともに、介 護についての心構えについて学びます。ま た、介護者の健康づくりや介護予防につ いての必要な知識・技術について学びます。							
生活困窮者 自立支援事業（子どもの 学習・生活支援事 業）	共生社会推 進課／生活 福祉第1 課・第2課	もう一歩！ （要改善）	0	5	0	もう 一歩！ （要改善）	・参加者が少ないと感じる。子どもが参加希望して いても保護者がボトルネックになっていることがある ので対策を考えてほしい。 ・学校との連携が不足しているように感じた。 ・全生徒配布のタブレットを活用できないか。 ・子ども食堂との連携を図れないか。 ・もう少し実施地域を広げてほしい。 ・対象が中学生だけでよい。	実行計 画・次年 度予算	・実施会場、対象学年及び 学習科目の拡充など、取組 強化に関する意見が多く あった。教育委員会との連 携強化や、タブレットの活 用、リモート環境の整備な ど、実施可能な改善策を検 討しつつ、今後のあり方検 討に活かしたい。 ・貧困の連鎖を断ち切るた めに、学習が必要不可欠で あることを改めて感じるこ とができた。今後も訪問時 等に保護者への説明・周知 を進め、更なる参加への呼 びかけをしていく必要を感じ ました。
		【事業目的】 子どもの社会的自立を促し、学歴による貧 困の世代間連鎖を防止すること。							
		【事業内容】 生活困窮世帯等の中学生を対象に、学力向 上のための学習支援や居場所の提供などを 通じて高等学校への進学を支援していま す。							

(3) 点検結果が「いいね！(継続)」となったもの(3事業)

事務 事業名	担当 課室	【点検結果】					【中間報告】		
		判定	一内訳一			参考	判定のポイント となった主な意見	反映の 方向性	担当職員 の 得られた気づき
			ちょっと進 ました！ (進捗)	もう一 歩！ (改善)	いいね！ (継続)	コディ ネーター 判定			
小中学校就 学援助事業	学校教育課	いいね！ (継続)	0	2	4	いいね！ (継続)	・就学援助の内容としては良いと思う。 ・リーフレットが分かりやすく、周知方法は良い。 ・指標については認定者数とするのが適切か疑問。 また中学生も対象とした詳細な調査が今後の課題 と思う。 ・ネット申請は困窮世帯には厳しいのではない。 またプライバシーに配慮して学校以外での申請方法 を検討してほしい。	—	成果指標として「全国学 力・学習状況調査」の結果 を用いています。より成果 の見える指標について ご意見をいただきました。 また、申請書の提出方法に ついて、もっとプライバ シーに配慮する必要性があ るとのご意見もいただきま した。これらのご意見につ きましては、他市の方法等 を参考にしながら、より良 い方法を検討していきま す。
		【事業目的】 経済的理由により就学困難と認められる児童 生徒のいる家庭に対し、就学に必要な経 費の一部を援助することにより、就学の機 会均等を図ります。							
		【事業内容】 学用品費・通学用品費・修学旅行費・通学 費等就学に要する経費の一部を年3回援助 しています。							
スクールカ ウンセラー 事業	指導課	いいね！ (継続)	0	3	5	いいね！ (継続)	・孤立化の進む時代において、カウンセラーの配置 は必要。 ・全校配置し、子どもだけでなく、保護者も相談でき るというのが良い。メールやライン等、非対面の相 談も出ると尚良いと思います。 ・自分から相談に来る力のある子だけでなく、相談 に出来ない深刻な悩みを抱えている子の掘り起こし が大事だと思う。 ・指標の設定が曖昧に感じました。定期的にweb相 談を全員に行い、改善率を測定してはどうか。 ・意を決して相談に来る子のためにも、カウンセラー がいる曜日の周知が必要。	—	スクールカウンセラーアシ スタント等に相談できない 児童生徒の掘り起こしにつ いてご指摘いただき、日頃 からの関係づくりの重要性 を再認識することができま した。いつでも気軽に相談 できる体制づくりを、今後 も大切にしていきたいと思 います。
		【事業目的】 教職員や県雇用のスクールカウンセラーの 対応を補完するため、スクールカウンセ ラーアシスタントを配置することにより、 児童生徒や保護者が抱える諸問題に対し て相談活動を行い、早期に対応することで、 諸問題の改善を図ります。							
		【事業内容】 週3日の勤務で、スクールカウンセラーを 補助しながらより多くの相談活動に対応で きる体制をとるほか、学校に足を運びにく い相談者のために公民館での相談活動も月 に1回程度行っています。							
ひとり親家 庭就業支援 事業	子ども福祉 課	いいね！ (継続)	0	2	4	いいね！ (継続)	・良い制度ではあるが、制度を知る機会が少ないと 思った。足立区の冊子を参考にしたい。 ・大人が学び、働く間の子どもの世話について支援 が必要。 ・援助した人に対し、継続的な経過観察や支援が必要 だと思う。 ・親の立場としてはありがたい。	—	制度周知方法を工夫し、 利用者の増につながる方策 を検討していきます。 また、現行の制度利用者 や事業を活用して資格を取 得した方々から聞き取り調 査を実施し、制度を利用し やすくする方策についても 検討してまいります。
		【事業目的】 ひとり親家庭の父または母の経済的な自立 を促進するため、母子及び父子並びに寡婦 福祉法に基づく国の補助事業として、就労 につながる資格の取得について支援するこ と。							
		【事業内容】 ひとり親家庭の自立を促進するため、教育 訓練給付金及び高等職業訓練促進給付金を 支給します。							